

滋賀県で、どんな暮らしができるか聞きに来ませんか？



40代、山村の古民家でカフェをはじめ



40代でみつけた、発酵のある暮らし



30代、農園を受け継ぎ、果樹農家になる

お住みつき
滋賀
セミナー
2017. Winter

移住してつくる
シゴトと暮らし

とき：

2017.

土

1/28

13:30-16:30

(13:00 受付開始)

ところ：

シティプラザ大阪
大阪ふるさと暮らし情報
センター 4階 YUU-優-
(大阪市中央区本町橋 2-31)

内容：

ゲストトーク
と移住相談会

トークゲストの紹介：



うえの かなえ
上野 華江 さん

40代、岐阜県から滋賀県米原市に移住
移住して2年目、カフェをオープン。

シングルマザーとして女手ひとつで子育てしながら、岐阜県でカフェを営んでいた上野さん。毎日の仕事で忙しく、丁寧な暮らしができていないことを残念に思っていました。お子さんが独立されるのをきっかけに、自給自足できるような暮らしを求めて移住先を探しました。地域を歩くように空き家を探し、出会ったのは、米原市の山村の小さな古民家。古来より葉草を暮らしに活かしてきたこの地域で、葉膳のお料理などを提供する「山のごはん よもぎ」をオープンしました。



かわむら なみ
河村 奈美 さん

40代、京都市から滋賀県高島市に移住
移住して3年目、高島市内の団体に勤務。

京都でIT関係の仕事をしていた河村さんは、オーバーワークにより体調を崩して退職し、休養している時に高島市を訪れます。豊かな自然に心を奪われ、あたたかく楽しい仲間に出会い、とんとん拍子に移住が決まりました。移住後、この地域の食文化である発酵食に関心を持ち、本格的に学び始めます。同時に市内で就職活動し、発酵食の発信にも関わりのある仕事に就くことができました。発酵を実践して楽しむ中で、今後はそれをビジネスにもつなげていきたいと考えています。



うるしざき あつし
漆崎 厚史 さん

30代、大阪から滋賀県東近江市に移住
移住して5年目、果樹農家を営む。

大阪でバスの整備の仕事をしていた漆崎さんは、何かをいちからつくりあげることがしたい！という想いから、ワインを造るブドウ農家になる決意をします。滋賀県内で経営継承できるブドウ畑を探し、東近江市のNPOを通じて現在の畑の継承が実現しました。男の子3人の子育てをしながら夫婦でブドウやイチゴの栽培に取り組んでいます。「Laque (ラクエ) ブドウ園」という屋号でブドウやイチゴを出荷するほか、ドライフルーツの商品化や地域のワイナリーとの連携にも力を入れています。



スケジュール：

- 13:30 - 13:35 インフォメーション
- 13:35 - 14:15 滋賀県内地域の紹介
- 14:15 - 15:30 ゲストトーク
- 15:30 - 16:30 移住相談会・交流会

参加無料・出入り自由・当日参加可能
移住相談はご予約の方が優先となります。

お問合せ・お申込み：

滋賀移住・交流促進協議会事務局（滋賀県総務部市町振興課内）

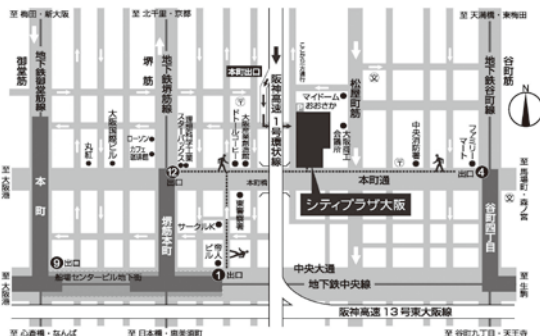
Tel:077-528-3243 Fax:077-528-4820 [✉bh0001@pref.shiga.lg.jp](mailto:bh0001@pref.shiga.lg.jp)

会場案内
(シティプラザ大阪)：



■ 電車で
地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅 12.1号出口より徒歩6分
地下鉄谷町線・中央線 谷町四丁目駅 4号出口より徒歩7分

■ 自動車で
阪神高速道路1号環状線本町出口(右側 車線が出口)
より左折、出口側からすぐ。
※駐車場 ホテル地下階 タイムズ24 (有料)



滋賀県に、あなたの未来を探しに来ませんか？